

レンタル衣裳の取り扱いについて

いよいよ発表会が近づいて参りました。

7月5日(水)より、発表会で着用する衣裳をお渡し致します。下記の約束事をよくお読み頂き、ご準備いただきますよう宜しくお願い致します。お取り扱いにはくれぐれもご注意ください。

◆◆ ドリームパフェスタジオ ◆◆

minny@dreamparfait.com

tel:03-5795-0132

【 衣裳の準備 】

■ 自宅保管、管理について

パール、ルビー、サファイアクラスまでのお子さんの衣裳の受け渡しはすべて保護者様にお願い致します。

原則としてお子様に衣裳を渡したり、お子さんが衣裳をお持ちになることはできません。衣裳の受け渡しに来られない保護者様はご自分で代理の方をお願いして頂くなどし、その旨を必ず事前に事務局までお伝えください。

また、衣裳をお渡ししてから本番当日までの間は各自ご自宅で管理していただきます。破損したり汚したりしないよう、お子さんの手の届かない場所に保管し、衣裳にさわるときは必ずきれいな手で、周りに飲み物や食べ物のないところで作業をしてください。特に、ガムや飴などの食べ物、口紅、指輪などは衣裳を汚したり破損したりしやすいので、お気をつけください。

万が一破損や汚してしまった場合にはお衣裳を買い取っていただくことになりますので、ご了承ください。

■ 衣裳の持ち運びや保管について

持ち運びの際は、お渡しした状態のまま名前付きビニール袋に入れ、更に持ち運び用の衣裳バックに入れてください。(6月のFUTUREにオススメの衣裳バックのURLを掲載しております)

衣裳を持ち運びする袋は飲み物や他の持ち物とは別にしてお持ちください。

また、通し稽古やリハーサルで着用した場合は必ずハンガーなどに掛け、日の当たらない風通しの良い場所で陰干ししてください。(衣裳のしわやあせじみを防ぎましょう)

洗濯、アイロンがけや除菌・消臭スプレーなどは絶対にしないでください。

■ 名前テープの配付 (ルビークラス、サファイアクラスの方のみ)

各衣裳の配付と一緒に、名前を書いて頂く布テープを配付致します。

※ 布テープはレッスンポーチのメッシュ部分に入れて、衣装と同日に配付いたします。

万が一見当たらない場合や紛失された場合はご自宅にある白い布を代用していただいても構いません。

姓は漢字、名は平仮名で使用される生徒様のお名前をお書きいただき、ホールで行う通し稽古までに、お渡しするすべての衣裳の下記指定場所に必ず手縫いで縫いつけてください。※ミシン厳禁。

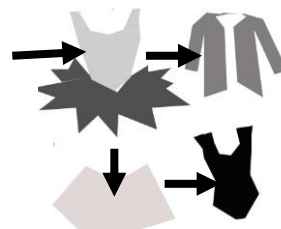
※パールクラス、エメラルドクラス以上の生徒様はお名前テープをつけませんので、

必ずお渡しした名前付きの透明な袋に入れてお持ち運びください。

本番当日エメラルドクラス以上の生徒様は記名したハンガーをご用意いただくなどし、自己管理を徹底しましょう。

記名用布テープの取り付け位置

原則として、レオタードや衣裳は右の脇下の縫い目に
ズボンやスカートなどのボトムスは背中のタグの上に
手縫いで縫いつけてください。(もちろんすべて衣裳の裏側です。)



■ 衣裳合わせ（ループ取り付け位置の指定）

講師又はスタッフがお子様のサイズに合ったループの取り付け位置を合わせてから衣裳をお渡しいたします。ループを作る1番上と1番下にのみ安全ピンをつけますので、残りのループの位置をご自身で決めて頂き、必ずその場所にループを作ってください。（金具は厳禁です）

レッスン欠席などの都合により、衣裳合わせを行う事が出来なかった場合はループ取り付け位置の確認から保護者様に行っていただきますので滞りなくご準備頂きますようご協力をお願い致します。

※ループ付けの工程は別紙の[衣裳合わせ(ループ位置の確認)の仕方]の※1のところから保護者様に行って頂きます。

※ **すでに衣裳についているループは外さないようにお願い致します。**

※ 衣裳を受け取ったらすぐにループ付けと名前テープ付けを済ませておいてください。

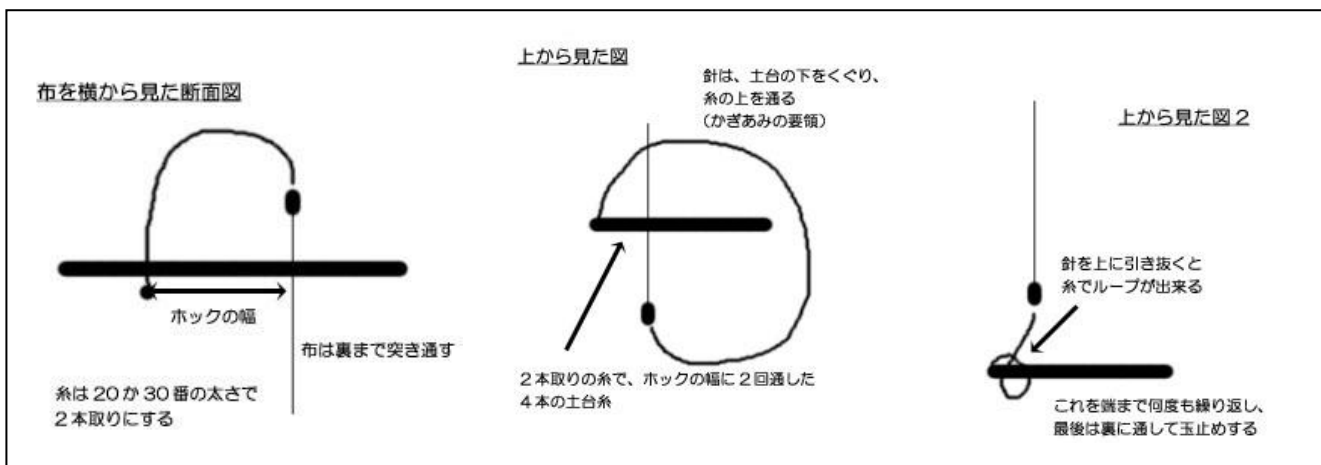
衣裳をお渡しした翌週のレッスン時にループの確認をさせていただき、不備があった場合は個々にご伝達致しますので、その指示に従ってください。（ループチェックのスケジュールは別紙をご参照ください）

※ レンタルの衣裳の頭飾りはスタジオで一括管理しますので衣裳袋には入っておりません。

※ 余分なものやとれた衣裳の飾り等が入ってありましたら、予めご連絡の上事務所までお持ちください。

※ もしループ付けを外部に発注される場合は全ての案内を必ずお守りいただき、破損や不備のないようご注意ください。

ループの作り方



* ループの糸の色につきましては、原則としてループをつける位置の布の色と同色のものをご用意ください。

別紙にて衣裳のお色一覧表をお知らせ致しますのでご確認ください。

糸の太さは、作りやすさと丈夫さから、20番か30番など太目の糸がおすすめです。

* YOUTUBEで「ムシの作り方 バレエ」で検索していただくと、わかりやすい動画がいくつかございますので不安な方はぜひお試しください。（ループのことをムシと呼びます）

とれない程度の手縫いをお願いします。

衣裳合わせ(ループ位置の確認)の仕方

まず、手を洗い口紅はおとし、飾りのついた指輪などは衣裳を傷つけたり汚したりしますので、外します。必ず飲み物や食べ物がそばにない、きれいな場所で行いましょう。

お子さんをたたせ、正面に座ります。

衣裳は縫い目や飾りなどで、かゆがる場合がありますので、タイツをなるべく上の方まであげておくとよいでしょう。



衣裳は必ず下から着せて下さい！

衣裳を広げてその中にお子さんに片足ずつ入るように指示します。

お子さんに足を上げさせるときは必ずお母さんの肩につかまらせてください。

よろめいて衣裳の裾を踏むと裾が破れますので、注意しましょう。

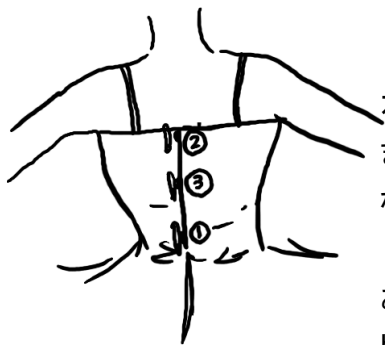
衣裳を上げ、袖を通したら後ろを向かせます。

お子さんをバレエの1番ポジションの足(左右かかとをつけて真っ直ぐ)で立たせ、姿勢良くお腹を引き上げさせます。

左右の布を引き合わせて、まず一番下、腰の部分のホック位置を決めます。このときは、普通の洋服と違い、なるべく身体と衣裳の間にゆりみがなく、体にぴったり合わせるようにきつめにしめます。

お子さんの肌に刺さないよう、十分に気をつけながら、ホック位置に安全ピンやまち針などで印をします。(衣裳に直接ペンで書かないで下さい。)

次に一番上のホック位置を決めます。



最後に、しわにならないように布をのばしながら、残りのホック位置を決めていきます。※1

お子さんの衣裳が、ゆりみやしわがなく、からだにぴったりに着られているか全体をチェックし、残りのホックのかかる場所に安全ピンをつけます。(残りのホックの数は衣裳によって異なります)

問題なければ、衣裳を脱がせ、安全ピンを付けた位置にループを作ります。